

労働相談

職場でのトラブルでお困りの皆さんへ

総合労働相談コーナーが
お手伝いします

職場でのトラブル（解雇、配置転換、賃下げ、いじめなど）でお困りではありませんか。

北海道労働局の各総合労働相談コーナーでは、こうした労働相談に応じて各種情報をご提供するとともに、無料・簡易・迅速な紛争解決システムとして、「あつせん」などのサービスを用意しています。

あつせん制度の概要などは、次の札幌総合労働相談コーナーまたは最寄の労働基準監督署にご相談ください。

札幌総合労働相談コーナー

札幌市中央区北3西3 NORTH
H3・3ビル4階

☎011(223)8712

※相談時間は午前9時から午後4時30分（土日祝日、年末年始を除く）



交通安全

「秋の全国交通安全運動」が実施されます！

実施期間

9月21日～30日までの10日間

実施の重点

- ①高齢者の交通事故防止
- ②スピードの出し過ぎと飲酒運転の防止
- ③夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

交通ルールを守り、交通事故を防止しましょう！

【歩行者、自転車向け】

■夜間は夜光反射材の活用を！

夜の道では、あなたから車のライトが見えていても、ドライバーからあなたの姿が見えているとは限りません。

- ・夜間外出するときは、できるだけ白色や黄色などの明るい服装で、ドライバーに自分の存在を知らせましょう。

- ・夜光反射材や懐中電灯などを使用すると、より一層、ドライバーから発見されやすくなります。

- ・自転車を利用する場合、夜間は必ずライトを点灯するとともに、自転車にも夜光反射材を付けましょう。

【運転者向け】

■歩行者に優しい運転を！

高齢歩行者が被害となる事故の多

くは、黒っぽい服装をした歩行者が車の進行方向右側からの横断中に発生しています。

- ・高齢者は、黒色等の暗い色の服装が多く、夜間は発見が難しい場合があるので、速度を落とすとして、歩行者や自転車がいないかよく確認しましょう。

・運転しているとき、あなたの注意力の約9割は自分の車線側です。右側にも注意しましょう。

・高齢者の自転車は、不意に進路変更をする場合がありますので、追い越すときは、減速して十分な間隔をとり、動きをよく確認しましょう。

■夜間など歩行者の通行が予想される道路では減速を！

車のヘッドライトの光は、外から見るとかなり明るく見えるため、高齢歩行者などは「車からは見えている。危なかったら止まってくれる。」と思ひ込み、車が接近していても、道路を横断してくるケースがあります。

住宅街などの道路では速度を落とし、対向車がないときはヘッドライトを上向きにするようにしましょう。

■問合せ

北海道警察本部交通部交通企画課
☎011(251)0110

(内線5063)

10月1日から

商工会加盟店及びJアラ・ラック店では

『レジ袋をご希望される

際には1枚1円以上の募金』

のご協力をお願いしています

7月25日、浜頓別町ノーレジ袋・マイバック運動を進める連絡会が発足しました。この連絡会は、レジ袋の削減とマイバック運動を呼びかけ、循環型社会の実現と地球の環境保全を図ることを目的に設立されました。

お買い物をされる町民の皆様へ

「レジ袋はいりません」

の一言をぜひお願いします

お店の皆様へ

「レジ袋は必要ですか？」

の声かけをお願いします

一人が年間に使うレジ袋は230枚といわれています。レジ袋は再生や破棄する際にも二酸化炭素を排出します。マイバックを用意してレジ袋を削減しましょう。

■問合せ 浜頓別町ノーレジ袋・マイバック運動を進める連絡会【事務局：役場住民課環境生活係 ☎2-2345（内線113）】

検討

北海道からのお知らせ

泊発電所におけるプルサーマル計画について検討を行っています。

北海道及び地元4町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）では、今年4月に北海道電力㈱から「泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」（安全協定）第2条に基づき、泊発電所3号機におけるプルサーマル計画に関する事前了解の協議の申し入れを受けました。

プルサーマル計画については、安全性の確保を最優先として慎重な検討が求められることから、現在、北海道では地元4町村と共同で、北

住民をはじめとした道民の皆様方からのご意見などを広く伺いながら、「プルサーマル計画に関する有識者検討会議」によりプルサーマル計画の安全性について科学的かつ専門的な見地から検討を進めています。詳しくは、北海道のホームページをご覧ください。

「ホームページアドレス」

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sn/ga/p_top.htm

なお、検討状況については、道内各支庁においても関係資料の閲覧が可能です。

問合せ

北海道総務部危機対策局原子力安全策環境安全グループ
☎011(204)5012

＜第5次浜頓別町まちづくり計画＞
策定委員会を開催しました

第5次浜頓別町まちづくり計画に係る策定委員会が次の日程で行われ、基本構想・基本計画素案について協議がされました。

同会で取りまとめられた「まちづくり計画（素案）」については、8月28日から9月10日まで町内及び町ホームページで公表し、皆さんからのご意見を募集しました。

- ▶ 8月12日（火） 第2回策定委員会
- ▶ 19日（火） 第3回策定委員会



策定委員会の様子

問合せ 役場総務課企画広報係
☎2-2345(内線218・220)

年金

公的年金は社会全体で高齢者の生活を支える制度です。

問合せ 役場住民課住民係 ☎2・2345(内線114)

貯蓄、仕送りでは
難しい老後の生活

かつての日本は、家族で高齢者の暮らしを支えるのが一般的であり、また、私的な貯蓄等によって老後の生活を送ることができました。

しかし、貯蓄には弱点があります。自分の寿命は誰も予想することができません。そのため本来必要な貯蓄額を事前に知ることはできません。子どもによる仕送りに頼ることも難しくなっています。

日本社会の構造変化、第一次産業で働く人の激減、核家族化と少子化の進行、サラリーマン世帯の増大等により、遠く離れた家族が私的な扶養に頼ることは難しくなっています。

社会全体で支える
経済変動にも強い

平均寿命が大幅に伸び、老後生活が長期化したことも、私的な扶養や貯蓄によって、老後生活を送ることを困難にしています。

公的年金は、現役世代の保険料負担で高齢者世代を支えるという世代間扶養の仕組みを基本として運営されています。これは、一人ひとりで私的に行っていた老親の扶養や仕送りを、社会全体の仕組みでカバーす

るものです。現役世代が全員ルールにしたがって保険料を納付し、そのときの高齢者全体を支える仕組みは、私的な扶養の不安定性などのトラブルを回避するメリットがあります。

また、年金を受ける頃の将来の経済社会がどうなっているかが予想つかない中で、公的年金は、基本的に物価の変動に応じて支給額が変動する仕組みとなっており、将来の経済変動にも十分に堪えられるものとなっています。それによって実質的価値を維持した年金を一生涯にわたって保証するものであることから、安定的な老後の所得保障を可能にしているのです。

若い世代にとっても
重要な役割を果たす

年金は、高齢者世代にとってはもちろんのこと、若い世代にとっても、自分の親の私的な扶養や自分自身の老後の心配を取り除く役割を果たしています。年金は、個人個人の自立を高め、社会の発展、安定に貢献している側面があります。

このように年金は、国民の生活、経済から見て不可欠かつ重要な存在となっておりといえます。国民年金に加入し、保険料を納付しましょう。